

4月から11月末まで、5件の事故が発生しました。10月2日傷害事故（5件目）が起きたため、**連続無事故記録が78日で停止してしまいました**。次の日から新たに開始して現在**連続59日間**更新中です。師走で「忙しさ」の為に基本動作が疎かになりがちです。**ちょっとした不注意**が重大事故につながります。無事故期間を長く維持できるように一人一人が安全に対する意識を持って就業に取り組みましょう。

連続無事故記録



令和3年度の事故件数は、**傷害事故5件、賠償事故0件**です。

1件目：令和3年5月13日発生（傷害事故）

事故内容：自転車で濡れた路面を通行中に転倒した。

2件目：令和3年5月22日発生（傷害事故）

事故内容：除草作業中、作業服の左腕に毛虫が付いて刺された。

3件目：令和3年6月22日発生（傷害事故）

事故内容：帰宅途中の自転車走行中、右から急に飛び出して来た車に衝突した。

4件目：令和3年7月15日発生（傷害事故）

事故内容：青信号と一時停止した自動車を確認して自転車で走行したところ、一時停止から進行を開始してきた自動車と衝突した。

5件目：令和3年10月2日発生（傷害事故）新規

事故内容：スーパーの商品搬入口を清掃中、転倒し鎖骨を骨折した。

事故原因：フォークリフトに気が取られて、足がもつれたため。

再発防止策：足元をしっかり気を付けて、転倒しない様にする。

心のゆとりをもって、いつも以上に慎重に！

早いもので今年も残すところあと1か月！年末に向けて慌ただしい日々が続く人も多いのではないのでしょうか。12月は例年、交通事故が最も多い月だそうです。この時期は師走と言う事で「忙しい」という感覚で、心に余裕もなくなり、交通事故を起こす要因にもなります。

車を運転する場合、車間距離を充分にあげ、スピードメーターをこまめに確認して法定速度を維持しましょう。また、定期的に車内を換気して休息をとりながら運転するのが良いでしょう。自転車も同様にスピードをださないよう余裕をもって運転しましょう。

横断歩道では「手で合図・安全確認」を実践

JAF の調査によると、信号機のない横断歩道で横断する歩行者がいる場合に、一時停止した車は埼玉県で12.4%（全国平均21.3%）でした。どうして止まらないのでしょうか？その理由の一つとして、ドライバーからは、「歩行者が渡るうとしているか、わからない。」との声が聞かれます。事故を防ぐ為にも、歩行者はドライバーが迷わず停止出来るよう、「左右の安全を確認してハンドサイン(合図)」を実践しましょう！止まったらドライバーに感謝の気持ちを伝えましょう。



冬の寒さは危険が一杯！

冬といえば誰もが想像するものが「寒さ」です。朝夕の気温が氷点下になり、私たちにとって厳しい季節といえます。体温の調整機能が衰えやすく、寒さに堪える季節といえます。さらに冬は空気が乾燥しやすいこともあり、様々な感染症に注意が必要な季節でもあります。今年は例年流行するインフルエンザに加え新型コロナウイルス第6波の同時流行が懸念されており、感染すると発熱、咳、肺炎などを引き起こします。寒さが増すことで低体温になると免疫力が低下し、重症化し命にかかわる事態にもなる恐れがあります。感染症対策に加え、寒さ対策（防寒着）も必要になります。



安全パトロールについて

『SAFETY NEWS』は今年最後の発行になります。4月から11月までの8ヶ月間、皆さんの就業現場へ伺い、安全就業の呼び掛けを行いました。「熱中症対策」、「虫刺され注意」、「安全防護具の着用」、「三脚等の道具のかたづけ」、「道路等での安全対策」等、安全就業にご協力いただきありがとうございました。皆様のお陰で現在傷害5件・賠償0件となりました。今年はあと1回安全パトロールを実施いたしますが、これから冬に向かって、雪道・凍結などの転倒災害のリスクが高くなりますので、安全対策にはなお一層のご協力をお願いいたします。

あなたのヒヤリハット体験談コーナー

前回募集しましたヒヤリハット体験談に11名約20の事例が寄せられました。そこで、毎回、体験談をこの紙面で発表し、会員の皆様と情報共有して今後の安全就業の為に役立てていきたいと思っております。



どうしていた時	どうなったのですか。	危なかった原因	改善策
植木剪定作業の為、作業場所へ入って目標の木に近づいた時。	切り株（10cm）につまずき、転倒寸前に立ち木につかまった。	雑草が長く伸びて、切り株が見えなかった。	雑草処理優先。又は、切り株等があるか要確認する。

夏の作業の場合、雑草が茂って足元が見えづらい事があります。まず、現場に立ち入る前に全体を見まわして、足元を確かめながら作業を開始しましょう。

重要

会員本人が感染や濃厚接触者になった場合は、必ず、センター事務所にできるだけ速やかに連絡して下さい。（個人情報として厳格に取り扱います。）新型コロナウイルスワクチンを2回接種しても、安心できません。これまで通りの感染対策（マスク、手洗い、密を避ける）をしてまいりましょう。

